

生命と人権を尊重し、良質かつ適切な医療を行います。

まほろば



2013.2
第138号

感染対策研修会(ノロウイルスについて)



2月1日 この時期にふさわしく「ノロウイルス対策」と題し、(医療安全・感染対策研修会)が開催されました。当院の素晴らしい感染対策マニュアルの活用推進と、吐物・排泄物処理の手順に則って実演をしていただきました。

ノロウイルスはアルコールに耐性があり乾燥・低温に強く、抗ウイルス剤のないウイルスです。ウイルスの型も様々で今年は特に「新型」の感染による流行が見られ、医療施設での痛ましい死亡事例もありました。医療従事者として正しく感染対策を行うことの大切さが皆さんに分かっていただけたのではないでしょうか？

手術室絡みの感染対策以外にはめっぽう弱い北山ですが、院内感染対策チームの皆さんの力を借りて、今年度最後の感染研修を終えることができました。感染対策と同じで「チームの力って素晴らしい！」と感じています。ありがとうございました。

中央手術室 看護師長：北山 泰子

第82回市民講座 「当院の地域医療連携室について」

平成18年に地域医療連携室が立ち上げられ、一般市民・院内職員の中でも実際どんな仕事をしているのか、なかなか分かりにくい部署であったかと思われます。関係している、外来・病棟などには認知されているのでしょうか、今回の市民講座でお話しする機会をいただき、認知度が高まり、理解され、今後さらなる活動の一助になればと思っております。



地域医療連携室は事務、MSW、看護師で業務をしており、それぞれの立場から日ごろ行っている仕事の内容をお話しさせていただきました。当院受診の流れ、医療相談

退院調整、そのメリットや当院の役割今後の社会の動向を見据えた退院調整のあり方について、各部署の院内の連携から外部との連携につ



いてお話をさせていただきました。日ごろから連携してお世話になっています弘前脳卒中センター

弘前市立病院 健生病院の連携室の方の参加もあり、いろいろ地域での問題提起などもあり、連携室の役割、意義など提示できたのではと考えております。今後とも連携室の活動にご協力、ご支援よろしくお願ひいたします。

地域医療連携係長：小山 あつ子

暖かな光に照らされてー第37回弘前城雪燈籠まつりー

去る2月8日（金）から11日（月）の4日間、弘前公園を会場に「弘前城雪燈籠まつり」が開催されました。今年は、開催初日に暴風雪警報が出たり、最終日にも大雪という天候でしたが、10日（日）は穏やかな1日となり、今年初めてのイベント「花火タイム」が行われることもあり、16万人の人出となりました。

メイン会場四の丸に造られた今年の大雪像は、「日本基督教団弘前教会」。この「日本基督教団弘前教会」は、1906年に、弘前メソヂスト教会の教会堂として建てられました。設計はクリスチャンでもあった棟梁櫻庭五郎、施工は堀江佐吉の四男斎藤伊三郎が請け負い、1904年に焼失した教会堂に替わって建てられたものです。フランスはパリのノートルダム寺院をモチーフにしたといわれ、左右のゴシック風の双塔や尖塔アーチの窓が印象的です。1993年には、青森県重宝にしていされています。ライトアップされた雪像

は、繊細かつダイナミックにその姿を再現していました。

寒さに負けず出掛けでみれば、一味違った素敵な弘前の冬に出会えます。

地域医療連携係：工藤 真淑



【シリーズ ダイエット①】



を食べない（抜く）もしくは、米だけ食べない事（低炭水化物ダイエット）が手軽すぐに痩せられると思われるがちですが、大きな問題があります。

そこで、今回から3回にわたりダイエットについて書きます。

1回目は食事を食べないこと、2回目は低炭水化物ダイエットは有効！？、3回目はきれいに痩せるダイエット飯についてです。

さて、今回は食事を食べないことについてですが、食事をしなければ、その時は体重が増え

ません。（1食分の重さだけ増えない）しかし、1食抜くだけで次の食事でカラダが栄養を蓄えようとして、より脂肪がカラダに蓄えられます。

つまり太りやすい体質になってしまうということです。

たまたま1食だけとか、どうしても体調が優れない場合は仕方ありません。

しかし、朝時間がないから等の理由で朝ご飯を食べない習慣がある人や1日2食などしている人は、どんどん太りやすい体質になってしまいます。

食事の基本は3食です。欠かさず食べましょう！

次回は、米だけ食べないこと（低炭水化物ダイエット）について

つづく!!

管理栄養士：井上 順貴

節分の日～豆まき会～

2月1日院内の風の子保育園で、一足早い豆まき会をしました。

今年は、岩木山の鬼に招待状を送り、自分たちの鬼の面とチラシを丸めて、豆ボールを頑張って製作しながら、楽しみに待っていました。

日本伝統行事の一つでもある、節分の由来「追儺式？どうして豆まくの？恵方巻きってなあに？豆を年の数食べるのはなぜ？」と、紙芝居や話をうなずいて聞いた後、「鬼をやっつけるぞ！」とはりきって「鬼は外！福は内！」と豆まきをして保育園中をまわりました。

その後ホールで赤鬼、青鬼チームに分かれて豆ボール投げゲームを楽しんでいる最中に「ピンポン♪」と、岩木山の鬼がやってきたので、子どもたちはびっくりして逃げ回り、泣いて保育士にしがみついたりと、大慌て。泣きながら勇気をもって鬼に近づき、「鬼は外！」と、豆ボールを投げる年長児。鬼は降参して山へ帰って行きました。



2月1日

大好きな給食は、一人ひとり恵方巻きをまいり、今年の恵方「南南東」を向いて願い事を思い浮かべながらおしゃべりもしないで食べていました。

給食後、子どもたちは「鬼怖かった。元気でおりこうに待っています。来年もまたきてください。」と、鬼に手紙や絵を書きました。

きっと、風の子保育園のみんなの体や心の中にいる、泣き虫鬼、弱虫鬼を追い出して、優しい心、強い心、頑張ろうとする心が育てと、追い払いに来てくれたのかもしれませんですね。

今年も子どもたちの笑顔で元気な豆まきパワーで幸せな春を運んでくれることと思います。

風の子保育園 園長：諏訪 栄子



外来診療一覧

◆外来医師診療一覧表 (2013年2月1日現在)

診療科	区分	月	火	水	木	金
循環器内科		熊本秀樹	熊本秀樹	熊本秀樹	熊本秀樹	熊本秀樹
呼吸器科		中川英之	山本勝丸	中川英之	山本勝丸	中川英之
		下山亜矢子	下山亜矢子	下山亜矢子	下山亜矢子	下山亜矢子
消化器・血液内科		間山恒	—	—	間山恒	間山恒
		松木明彦	五十嵐崇徳	五十嵐崇徳	—	五十嵐崇徳
		佐藤年信	—	佐藤年信	松木明彦	佐藤年信
		石黒陽	石黒陽	—	石黒陽	石黒陽
小児科		三上珠希	野村由美子	杉本和彦	野村由美子	野村由美子
		杉本和彦	佐藤工	三上珠希	佐藤工	杉本和彦
		伊東竜也	千葉友揮	—	千葉友揮	伊東竜也
外科		田澤俊幸	高橋克郎	田澤俊幸	高橋克郎	三上勝也
乳腺外来		小田桐弘毅	小田桐弘毅	小田桐弘毅	—	小田桐弘毅
整形外科	午前	柿崎寛	柿崎寛	秋元博之	秋元博之	柿崎寛
		黒瀬理恵	黒瀬理恵	黒瀬理恵	千葉紀之	八重垣誠
		八重垣誠	弘大医師	八重垣誠	—	秋元博之
脳神経外科	午後	—	—	—	—	柿崎寛
皮膚科	午前	熊野高行	佐藤正憲	佐藤正憲	熊野高行	熊野高行
	午後	●予約	●手術/検査	●予約	●手術/検査	●予約
泌尿器科	午前	神村典孝	神村典孝	神村典孝	神村典孝	神村典孝
産婦人科		木村秀崇	尾崎浩士	鈴木洋一郎	●妊婦健診	尾崎浩士
		小林麻美	鈴木洋一郎	木村秀崇	(一般外来休診)	小林麻美
眼科		蒔苗順義	蒔苗順義	蒔苗順義	蒔苗順義	蒔苗順義
耳鼻咽喉科		黒田令子	黒田令子	●手術	黒田令子	黒田令子
		二井一則	二井一則	(一般外来休診)	二井一則	二井一則
放射線科	診断	佐々木幸雄	佐々木幸雄	佐々木幸雄	佐々木幸雄	佐々木幸雄
	治療	—	—	川口英夫 (午後)	—	川口英夫 (午後)
女性専用外来		杉本菜穂子(※予約制/第1・第3火曜日午後診療)				
セカンドオピニオン		—	—	—	今充	—

※ 学会、出張などにより担当医師が替わる場合があります。

今月の川柳

★川柳募集★ あなたの川柳をお待ちしています。

除雪され 雪だまりなく 日だまりに

(昭和世代)

ありがとう 一日の重さ 続く笑顔

(乙女の像)

※掲載作品は広報誌編集委員会で選出したものです。

患者相談窓口

『患者相談室』のMSW(メディカルソーシャルワーカー)が対応していますので、お気軽にお尋ね下さい。

お知らせ

編集委員会より

当院の広報誌『まほろば』は、地域に信頼され、納得の医療で地域に貢献しつつ、地域と協働して歩む病院づくりを目指し、地域の方々を対象に編集しております。皆さまから病院に対して『不安なことや不満足なこと』『ご批判やご指摘また、お褒めのことば』を職員一同お待ちしております。

発行元



Hirosaki National Hospital
独立行政法人国立病院機構

弘前病院

責任者：副院長 柿崎 寛

〒036-8545 弘前市大字富野町1番地

TEL 0172-32-4311

FAX 0172-33-8614

URL <http://www.hosp.go.jp/~hirosaki/>